



「府内産木材の利用等の促進に関する条例」を 全会一致で可決し、木材利用の一層の促進を!



議事を代表して、我が会派の荒巻隆三代表幹事が提案して、昨年2月から計19回の政策調整会議での議論を経て、京都府府内産木材の利用等の促進に関する条例案をとりまとめました。京都府内産の木材は、古くから建築物のほか、工芸品や生活用品等にも利用され、木の文化や産業の発展に大きく寄与してきました。

府内産木材の利用を促進することは、林業・木材産業の持続的発展のみならず、地域の活性化や、土砂災害、地球温暖化の防止をはじめとした森林の公益的機能の発揮にもつながることから、私たちに恵みをもたらす森林を次代の府民に引き継いでいくことが求められています。

こうしたことから、京都府の公共建築物には原則、府内産木材を利用することを義務化するなど、府内産木材の利用を加速的に促進するため、この条例を全会一致で可決制定しました。

勉強会・意見交換会

スマートライフ推進議員連盟



昨年12月に議員連盟を設立し、初めての勉強会を開催。「2025年大阪・関西万博への参加とスマートライフの推進」と題し、万博開催までのスケジュール、機運醸成の取組、空飛ぶクルマの実現に向けた環境整備の推進など興味深い話をお聞きした。京都府におけるスマートライフの推進、未来志向の豊かな地域づくりへの思いを強めることができた。

京都府建設業協会との意見交換会



公共事業に関する要望書を受け取り、国土強靱化や社会資本整備の着実な推進や、除雪業務に係る負担の見直しや更なる待遇の改善、地域建設業がその社会使命をこれからも果たしていくための意見交換会を行った。

2月補正予算案 (追加提案)

1.令和4年度予算補正(第1号) 236億3,400万円

飲食店への営業時間短縮要請に係る協力金 236億3,400万円

まん延防止等重点措置の期間延長(3月7日~21日分) 102億7,100万円

国庫補助金の取扱いに基づき令和3年度予算の一部を付替え 133億6,300万円

2.令和3年度予算補正(第28号) ▲133億3,300万円

飲食店への営業時間短縮要請に係る協力金 133億6,300万円

ウクライナ情勢を踏まえた支援強化 3,000万円

＜府内在住ウクライナ人等に対する緊急支援＞
外国人住民総合相談窓口に専用窓口を開設し、相談員を配置
相談員が寄り添いウクライナ人住民と支援者等の情報・意見交換の場を提供
大学等を通じて、ウクライナからの留学生に対する生活支援等を実施
＜府内中小企業等への支援体制を強化＞
経営相談や各種支援制度の情報提供等を行う窓口を新たに設置
中小企業の組合等が実施する経営改善に向けた専門家相談等を支援

2月定例会での質問項目の一部抜粋です。*京都府議会のHP (<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html>) で録画中継をご覧になることができます。

予算特別委員会総括質疑

厳しく長期間におけるコロナとの闘い の中で、夢・希望あふれる未来の京都 をつくるため、知事に問う!

- 農林水産業のこれからのあり方について
 - これまでの施策がうまくいかなかった要因、検証をする中で本府の農林水産分野の弱点を分析し、今後の施策に反映すべき。
 - 国の「みどりの食料システム戦略」におけるカーボンニュートラルをどのように推進し、新年度予算に組み込むのか
 - 未来に向けた新たな企業の育成について
 - スタートアップ企業の支援の現状と課題、今後の支援は?
 - 大山崎町に整備予定である「アート&テクノロジー・ヴィレッジ」の進捗状況と今後の見通しや計画は?
- (要望) 保育所等職員の処遇改善については、補助金金額が賃金に充てられるよう計画書や実績報告書の把握に努めて欲しい



長岡京市・乙訓郡 能勢昌博

予期せぬリスクに備え、多世代が安心・安全に暮らせ、京文化を利活用して豊かで夢を実現できる街を目指して!

- ◎犯罪被害者を支援する条例の早期制定について
安心して暮らしていけるセーフティネットとして被害者に寄り添える府の条例を一日も早くつくる必要があるかどうか。
- ◎重要文化財・明治の宝物「京都府庁旧本館」の活用について
文化庁の移転を機に、「旧本館」を京都近代化の歴史観光地の中心として本格的な観光施設や文化発信の拠点としてはどうか。
- ◎府内を縦横無尽に燃料電池車 (FCV) が走れる取組について
脱炭素社会の実現には燃料電池車の普及が必要であり、府有地を活用するなどして、小型の水素ステーションを拡充してはどうか。
- ◎元「三条寺町交番」跡地の利活用について
古くから繁華街の要の地なので防犯拠点として再活用してはどうか。



中京区 青木義照

☆急げ! 山陰近畿自動車道の全線開通 ☆医療的ケア児と家族の支援強化を! ☆再生可能エネルギーの地産地消を!

- ◎平成元年以降、府内の新規立地企業の9割は高速道路のインターチェンジから15分圏内に位置するなど、高速道路は府北部の活性化にも極めて重要だ。国の動向を踏まえ、あらゆる整備手法を研究し、地元のご意見も賜りながら、早期全線開通に全力で取り組む。
- ◎「子育て環境日本一」の実現に、医療的ケア児とその家族を応援する環境整備は極めて重要だ。市町村や関係機関と連携して安心安全な通学の確保に努め、適切な支援を受けられる体制を整備する。
- ◎災害時の電力供給や売電収入を活用した地域振興、また、再エネを地域で利用するエネルギー地産地消による地域経済活性化など、府も再エネ導入が地域にもたらす様々なメリットを積極的に発信し、市町村とも連携して、地域共生型の再エネ導入に取り組む。



京丹後市 森口亨

新型コロナ感染症に関するお困り事・ご要望は地元の議員にご相談ください。
